年　　月　　日（　　時　　分）

情報通信研究機構　電磁波計測研究所　時空標準研究室　御中

jcss周波数標準器校正(持込み)のための確認チェックシート

チェックシートにご記入の上、下記へお送り下さい。

＜送り先＞　〒184－8795　東京都小金井市貫井北町4－2－1

国立研究開発法人　情報通信研究機構(NICT)
電磁波計測研究所　時空標準研究室　　計測サービス受付　宛

電話：（042）327－7573　　　FAX：（042）327－6670
E-mail：　sokugi@ml.nict.go.jp

■jcss校正は

・計量法校正事業者認定制度（JCSS)の認定校正事業に用いる特定二次標準器の校正
・登録検査等事業者用測定器の較正（無線設備の点検に用いる測定器の較正）
を基本としています。

■jcss校正を受けようとする周波数標準器（以下、「被測定器」という。）について、別紙１の「注意事項」をよくお読みの上、この後の質問の該当するものに✓ 印を付け、必要事項をご記入下さい。

■本チェックシート（Ver.10）が最新版書式であることを時空標準研究室にご確認下さい。
本チェックシートの書式については、必要に応じて改定を行っています。周波数標準器の校正を依頼される前に、最新版書式を時空標準研究室にご請求頂くか、インターネットに接続できる環境のある方は、時空標準研究室の校正に関するサイト

http://cal.nict.go.jp/

から、最新版書式（PDFファイル）をダウンロードのうえご記入ください。

●お客様の会社名、この校正に関する連絡担当部署と担当者名

会社名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

担当部署：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

担当者名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　E-mail：

連絡先　郵便番号：

住所：

電話：（　　）　　－　　　　FAX ：（　　）　　－

●被測定器の当機構での校正経験

□なし → 本チェックシートへご記入ください。◆搬入時立会いは、必須になります。

□あり → 前回校正年月：＿＿＿＿＿＿年＿＿＿＿月

証明書・完了通知書番号：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

今回の校正内容は、

□前回校正と同一 → 本チェックシート１頁～３頁（搬出時の立会いの有無まで）をご記入ください。

□前回校正と同一ではない → 本チェックシートへご記入ください。

◆立会いが省略できます。→ 省略を希望される場合は、下の「搬入時又は搬出時の立会いの有無」で「立会いを省略する」を選択してください。

◆本チェックシートの書式が前回校正を受けていただいた時点から変更されている場合等には、再度本チェックシートへの記載をお願いすることがありますことをご了解ください。

●搬入日時および立会いの有無

◆搬入時、立会いをされる際には、お客様（申請者または代理人）に、被測定器の設置と被測定器が正常に動作する事の確認をお願いしています。

◆ 立会いを省略する場合は、当機構担当者が被測定器の設置と被測定器が正常に動作する事の確認をし、問題がある場合はご相談いたします。(当機構での校正経験“あり”の場合)

以下の3つ(□)の選択肢の中から、1つチェックし、必要事項を記入ください。

□搬入時、立会う。被測定器は手荷物として持込み。

(立会いご希望日時　　年　　月　　日　　時　　分)

□搬入時、立会う。被測定器の輸送は宅配便を利用。(お客様による手配)

(立会いご希望日時　　年　　月　　日　　時　　分)

(被測定物のNICT到着予定日　　年　　月　　日　宅配業者名　　　　　　)

→ 別紙２「宅配便のご利用について」を参照下さい。

□搬入時、立会いを省略する。被測定器の輸送は宅配便を利用。(お客様による手配)。

(被測定物のNICT到着予定日　　年　　月　　日　宅配業者名　　　　　　)

→ 別紙２「宅配便のご利用について」を参照下さい。

◆搬入時の宅配便の伝票には下の宛先をご記入下さい。

郵便番号：　184－8795

住　所：　東京都小金井市貫井北町４－２－１
国立研究開発法人　情報通信研究機構
電磁波計測研究所　時空標準研究室　2号館

氏　名：　小竹　(手渡し)

電　話：　042)327－6985

品　名：　周波数標準器

●搬出時の立会いの有無

- ◆ 立会いをされる際には、お客様（申請者または代理人）に、被測定器の撤収と引取り作業をお願いしています。
- ◆ 立会いを省略できる場合は、当機構担当者が被測定器の撤収と梱包作業し、宅配業者へ連絡手配します。梱包材は、事前にお客様が準備願います。
- ◆ 校正終了後の連絡時に、立会い日時又は宅配日について打ち合わせをさせていただきます。

以下の3つ(□)の選択肢の中から、1つチェックし、必要事項を記入ください。

□搬出時、立会う。被測定器は手荷物として持帰り

□搬出時、立会う。被測定器の輸送は宅配便を利用。（お客様による手配）

→別紙２「宅配便のご利用について」を参照下さい。

□搬出時、立会いを省略する。被測定器の輸送は宅配便を利用。（要梱包材）

→別紙２「宅配便のご利用について」を参照の上、以下①～③をご記入下さい。

① 指定業者　□あり　→　お客様による手配をお願いします。NICTによる手配を希望される場合は、指定業者の着払い伝票に必要事項をご記入の上、搬入時に被測定器に添付してください。

業者名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

連絡先：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

□なし　→　当機構で決めさせていただきます。

② 輸送保険　□必要　→　保険金額＿＿＿＿＿＿＿＿円

□必要なし

③ 返送先（記入済み着払い伝票を添付の場合は記入不要）

□担当者(会社名、担当部署記入欄と同じ住所)宛

□その他→　郵便番号：＿＿＿＿＿　電話：＿＿＿＿＿

住所：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

氏名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

備考：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

------------＜ 前回と同一校正のお客様はここまでの記入で結構です。＞------------

●被測定器について

(1) 製造会社名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

(2) 型名(オプション名を含む)：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

(3) 名称：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

(4) 製造番号等(可能であれば)：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

(5) 被測定器の種類

□セシウム　　□ルビジウム　　□水晶

□従属発振型→校正をお引き受けできません。［ここで終了］

□その他→時空標準研究室宛別途ご相談下さい。

(6) 電源の種類（どれか一つ選択して下さい。）

□AC 100 V ±10%　 50 Hz(容量350 W以下に限る。)

□AC 115 V ±10%　 50 Hz(容量350 W以下に限る。)

□上記以外(以下の3つの選択肢から1つチェックして下さい。)

□容量が上記範囲を超える。→時空標準研究室宛別途ご相談下さい。

□アダプタを用意できる。

□アダプタを用意できない。→校正をお引き受けできません。［ここで終了］

(7) 出力コネクタ形状

□ BNC型ジャック

□ N型ジャック

□上記以外(以下の2つの選択肢から1つチェックして下さい。)

□ BNC型プラグを接続できるアダプタ等を用意できる。

□上記を用意できない。→校正をお引き受けできません。［ここで終了］

(8) 出力信号波形

□正弦波

□正弦波以外　→校正をお引き受けできません。［ここで終了］

(9) 出力信号レベル（50Ω終端時）

□+5 dBm ～ +18 dBm　(0.4 Vrms ～ 1.8 Vrms)

□上記の値の範囲外　→時空標準研究室宛別途ご相談下さい。

■50Ω終端時のレベル（実測値）をご記入下さい。：＿＿＿＿dBm(＿＿＿＿Vrms)

(10) 出力周波数のドリフト

□5×10^{-9}／y 以下

□上記以外　→校正をお引き受けできません。［ここで終了］

(11) 取扱説明書中の周波数確度の仕様値記載の有無

□記載あり。→記載値：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

□記載なし。

●校正条件について

(1) 校正を希望する周波数

□5 MHz　　□10 MHz

□上記以外　→校正をお引き受けできません。［ここで終了］

(2) 校正を希望する測定時間

□基本測定(24時間)のみ

□上記以外　→校正をお引き受けできません。［ここで終了］

(3) 校正環境

□周囲温度　23℃±1℃　　周囲湿度(相対値)　50%±10%

□上記以外を希望　→校正をお引き受けできません。［ここで終了］

●搬入時の添付品について

(1) 電源ケーブルなど校正に必要な全ての附属品の添付

□添付できる。
□添付できない。→校正をお引き受けできません。［ここで終了］

(2) 取扱説明書

□日本語版を添付できる。
□外国語版を添付できる。(以下の2つの選択肢から1つチェックして下さい。)
□電源のON/OFFや正常動作の確認方法を日本語で書いた簡単な説明書を添付可能。
□上記の物を添付できない。→時空標準研究室宛別途ご相談下さい。
□添付できない。→校正をお引き受けできません。［ここで終了］

(3) 搬入品リスト（様式は任意）

□添付できる。
□申請書の付属品欄に記載する。
□添付できない。→校正をお引き受けできません。［ここで終了］

●申請者及び代理人について

(1) 申請者名称（校正証明書に記載する名称）

____

(2) 代理人名称

____

> ◆ **代理人が校正を依頼する場合は、指定様式の委任状が必要になります。様式については時空標準研究室にお問い合わせ下さい。**

●校正に関するご意見・ご要望

この校正に関して希望・要望、あるいは応対等に関することでお気づきの点・ご意見がありましたらお書き下さい。余白が少ない場合は別紙を添付して頂いても結構です。

____
____
____
____
____
____
____
____

別紙１　注意事項

■記入にあたっての注意事項

この確認チェックシートは、周波数標準器の校正を計量法第135条第1項の規定による校正（jcss校正）として行うためのものです。

1．校正できない品目について
周波数標準器のうち、長波標準電波（JJY）、GPS電波など、外部の基準信号により制御を受ける周波数標準器（「従属発振型」という）の校正はお引き受けできません。

2．校正周波数及び校正時間
校正を行う周波数は、5 MHzまたは 10 MHzです。ご希望の周波数１波について、測定時間24時間で校正を実施します。

3．本チェックシートの記載
校正を受ける前に、必ず本チェックシートを台数分ご記入のうえ、お送り下さい。

■証明書等の交付と手数料振込みの時期について

証明書等交付は、校正手数料のお振込み確認後となります。したがいまして、被測定物の搬入、搬出、お振込の日程は、計画的にお願いいたします。

■搬入にあたっての注意事項

1．搬入日または立会いについて
搬入日または立会い日については、事前に時空標準研究室とご相談下さい。

2．搬入について

◆お客様ご自身で搬入（持込み）される場合

被測定器の搬入の際に、jcss校正申請書（記入、押印されたもの）をお持ちください。受付での申請の際には、書類及び、被測定器が正常に動作する事をご確認願います。また、被測定器が正常に動作しない場合は校正をお引き受けできません。

◆宅配便をご利用される場合（別紙2も参照下さい。）

原則として事前に郵送等でjcss校正申請書（記入、押印されたもの）をお送りください。立会いを省略される場合は、当機構担当者が被測定器の設置と動作確認を行いますが、正常に動作しない場合は、その後の対応についてご相談いたします。

3．輸送中の事故等について
立会いの有無にかかわらず、運送中の事故については責任を負いかねます。また、運送費用や保険費用はお客様のご負担となります。

4．疑義等
校正等につき、疑義が生じた場合は、当機構及びお客様は、誠意を持って協議のうえ解決にあたることとします。

■情報通信研究機構のjcss校正（周波数）の校正条件

「jcss校正（周波数）」とは、当機構が維持する周波数国家標準（計量法第134条の規定よる「特定標準器」）を用い、同特定標準器に対し、被測定器の測定時間24時間における平均周波数偏差を求めます。　併せて、平均化時間が1 秒（時間間隔測定法のみ）、10 秒、100 秒、1000 秒、10 000 秒における安定度を算出し、参考データとして添付いたします。　以上を基本測定とします。

特定標準器に対する周波数偏差が±1×10^{-8}以内の場合は時間間隔測定法（被測定器の周波数のキャリアと特定標準器のキャリア 10 MHzとの位相差の変動から周波数の偏差を求める）で、それ以外の周波数偏差の場合は、周波数カウンタ法（周波数カウンタで直接周波数を計測する）で校正します。

不確かさは、時間間隔測定法が5×10^{-14}、周波数カウンタ法では5MHzの時は、1.1×10^{-13}、10MHzの時は、1.5×10^{-13}程度、です。

なお、基本測定部分の周波数の校正は、計量法第135条の規定による指定校正機関として行う校正に相当し、その校正証明書（表紙と別紙周波数校正結果の一式）は、同法第136条第1項の規定による「証明書」に相当します。

別紙２　宅配便のご利用について

■　宅配便ご利用に関する注意事項

１. 宅配便により搬入出可能な被校正機器は、以下のとおりです。
・周波数標準器

２. 立会いの有無にかかわらず、輸送中における被校正機器の破損等、及び取扱説明書等の不備による被校正機器の破損等に関しては、NICTは一切責任を負いません。
・機器設置終了後、電源投入時に正常動作していない場合は、その後の対処についてご相談いたします。
・NICT内での取り扱いは、NICTの責任で添付の取扱い説明書（英文の場合は日本語訳版・手順書）にそって行いますが、日本語訳版の取扱説明書・手順書に不備があった場合は、その責任を負いませんので、訳文・手順書の作成にご注意ください。

３. 搬入時または搬出時の立会いの有無にかかわらず、お客様からNICTへの輸送料は元払いで、測定完了後NICTからお客様への輸送料は着払いとさせていただきます。
・搬出時に輸送保険が必要な場合は、チェックシートに保険金額と共にその旨ご記入ください。
・搬出時の宅配業者は、お客様のご希望がない場合は、NICTで決めさせていただきます。

４. 機器の破損等を防止するため十分に梱包して下さい。
・機器の破損等を防止するために、梱包する際には十分な緩衝材等を入れてください。
・搬出時の立会いを省略される場合、測定終了後に搬入時と同様な形状で梱包いたしますが、梱包が輸送に適さないと思われる場合は、ご相談の上梱包をし直します。その際に費用が発生した場合は、その費用を担当業者から請求いたしますので、お支払いください。

５. 必要書類（jcss校正申請書、委任状等）は、宅配便を送付される前にお送りください。
・受付に必要な書類は、原則として宅配便を送付される前にお送りください。

６. 宅配便ご利用のお客様には、上記の注意事項をご了解いただいたものとさせていただきます。

お問い合わせ先

■ 国立研究開発法人　情報通信研究機構(NICT)　電磁波計測研究所　時空標準研究室

計測サービス受付及び搬入日時等の確認	**担　当　：　町澤** TEL　：　(042) 327－7573 FAX　：　(042) 327－6670 E-mail　：　sokugi@ml.nict.go.jp URL　：　http://cal.nict.go.jp/
周波数標準器校正に関する技術的内容	**担　当　：　小竹** TEL　：　(042) 327－6985　**(日本標準時グループの代表電話)** FAX　：　(042) 327－5809 E-mail　：　horonet@nict.go.jp URL　：　http://cal.nict.go.jp/